

主な記事

2面・3面:新春特別対談 立憲民主党野田代表「賃金は必ず上げる」「事業法に再挑戦」

4面:大阪で日本型ライドシェア24時間運行の暴挙▽タクシー政策議論に41名の新たな力

全自交しんぶん

第1256号

1月1日

(有料制1080号)

2025年/令和7年

THE ZENJIKO
全自交しんぶん

発行=全国自動車交通労働組合連合会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目7番9号
電話=03東京(3408)0875
FAX=03東京(3497)0107
zenjiko-roren@zenjiko.or.jp
発行責任者=野尻 雅人
原則毎月15日発行(月1回)
……購読料 1ヵ月 70円……

政権交代 賃上げの年

謹賀新年

ライドシェア新法阻止 地域公共交通を守り抜く



溝上 泰央 中央執行委員長

新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。全自交労連中央執行委員長の溝上です。組合員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。日頃、全自交労連の運動に対し御理解・御協力を賜っていることにも、心より感謝申し上げます。

旧年中は、元日に起きた「令和6年能登半島地震」と翌日の「旅客機と海保機の接触事故」という我々公共交通に従事する者としても大変ショックな出来事である激動の一年となりました。

我々が働くハイタク産業においても、プラットフォーム型のライドシェア導入勢力が、恣意的なデータを基に様々な会議でライドシェアの必要性を訴え、導入ありきの議論で「ライドシェア新法」制定を画策しました。

我々、全自交労連は、日本のタクシーが世界一の評価を受けていることなど、行政が主催する会議をはじめ様々な場でタクシー労働者の意見を述べ、全国各地でライドシェア新法阻止の運動を強固に展開してきました。タクシー事業者も「日本版ライドシェア」の立ち上げや交通空白地を無くす取り組みとして「自治体ライドシェア」に積極的に関与し、タクシーが公共交通であり、社会的インフラであることを示してきました。

しかし、交通空白地や過疎地などの事業採算性の厳しい地域では、民間事業者であるタクシー会社の努力だけでは限界があります。昨年は、歴史ある会社も含め、全国各地でタクシー会社の廃業が加速した年でもありまし

進化を止めず 頑張ろう

た。国や自治体が公助を含めた取り組みをタクシー事業者と一体となつて行うこと、そして各地域での将来を見据えた持続可能な「公共交通政策」が必要です。

同時に、我々は公共交通に従事するエッセンシャルワーカーとして、移動困難者を支えなければなりません。昨年10月、車いす利用者の方々が21都道府県で行った調査では、UDタクシーによる乗車拒否の割合が、東京を除く道府県で1年前より増加する残念な結果が出てしまいました。全自交労連として車両の改善を今後訴えていきますが、利用者からの信頼を損なう行為は結局、我々自身の首を絞めることを肝に銘じなくてはなりません。

第50回の衆議院選挙で、皆様のご協力もあり我々の支持する立憲民主党は98議席から148議席と大きく議席を伸ばすことが出来ました。組合員一人一人の取り組みに感謝を申し上げます。政権交代への足がかりとして自公過半数割れの目標を達成した流れを、今年の夏の参議院選挙でも確かなものとしなくてはなりません。2012年に野田政権の解散で破算になった「タクシー事業法」は、タクシーの営業免許を3年ごとの更新制として悪質事業者を退出させ、台数や運賃を強力に規制し、過労防止規定を新設するなど、画期的な法案でした。再び我々の力で野田政権を誕生させ、このタクシー事業法をもう一度現実のものとするのが、ハイタク産業の明るい未来への近道です。

全国では、自主管理など都市部では想像できない状況の中、雇用を守り、組織を守り、仲間を守る努力を続けています。

全自交労連は、ハイヤー・タクシー・自動車教習所の産業別労働組合として、新しい時代に立ち向かい、公共交通を担う労働者にふさわしい賃金・労働条件を実現出来るよう、先頭に立って運動を展開していきます。本年も、全自交労連に結集する組合員の皆様の無事故・無違反と、ご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

公共交通に従事する使命と矜持をもって、大変厳しい時代ですが、進化を止めずにも頑張ります。

新春 マツチ

立憲民主党 代表 野田 佳彦

全自交労連 中央執行委員長 溝上 泰央

タクシー事業法に再挑戦

「国会は変わった」「議員立法も選択肢」



闘魂みなぎる表情で固く握手を交わしました。左から溝上委員長、野田代表、そして司会進行役を務めた野尻雅人書記長。対談は2024年11月27日、衆議院第一議員会館内の野田事務所で行われ、野田代表には、明日から臨時国会という多忙な日程の中でお時間を割いていただきました。

新春恒例のビッグ対談企画、今年はこの人しかいません。2024年9月に立憲民主党の新たな代表に就任した野田佳彦元総理です。大のプロレス好きで知られる野田代表は、溝上泰央中央執行委員との記念撮影で開口一番、「プロレスラー同士みたい、週刊プロレスの表紙ですね」と、先制口撃。返す刀で溝上委員長は「あの時、野田政権がもう少し続いたら、タクシー事業法は…」と反撃し、「すわ遺恨試合か」とリリングに緊張が走りましたが、ライドシェア問題や賃上げについて語り尽くした両雄。最後に、溝上委員長は「私たちが力を尽くして再び野田政権を誕生させます。そして再び事業法を」と熱い思いを述べ、ガッツリ握手を交わしたのです。

どうやって地方を守る



「お世話になった福祉タクシー」

溝上 「タクシーは既得権益」と言われまじく、殆どは赤字です。しかし「なくてはならない存在だ」と自負しています。我々は常々、移動困難者に寄り添う気持ちでやってきました。問題は都市部と地方部の差です。公助をいただいた上で、しっかりと地方の足を確保する方法を日本国としてやっていかないと。私は4、5年前まで「国土交通省は敵だ」と思っていました。けどね、考えが変わりました。国交省は「交通空白解消本部」の設置などしっかり仕事をしていますから、交通政策を確実に進めていただきたい。

野田 公費をどう入れるかですね。最後は。

溝上 十把一絡げに「補助金」という話ではありません。例えば京都のバスが外国人観光客であふれている問題などは、利益を享受している観光業界も一緒に考えるべきです。

野田 自治体も宿泊税の収入を地域のためにうまく使う中で、移動手段のことも考えるべきですね。

溝上 一方で、法律を守らず最低賃金を払わない会社もまだまだ実在します。本当にタクシー事業法のような事業免許の形を作り、しっかりと国がチェックして事業者を育てていく必要があります。

野田 私親父が脳梗塞で倒れた時には、福祉タクシーで本当にお世話になりました。きめ細やかで親切で誠実だね。本当にありがたく、料金が高いとは全然思いませんでした。タクシー業界には多角的な分野をさらに開拓していただきたいと思っています。

溝上 我々は立憲民主党を推している組織です。衆院選で与党を過半数割れに追い込みましたが、今後「国民民主党とさえ組めば政権を取れる」となった時にどうされますか。

野田 最初に大きな塊を作りたい。国民民主党さんの可能性が大きいと思っていますが、明日からの臨時国会では（対談は2024年11月27日実施）、連携できる野党をなるべく多く声掛けし、一緒に議員立法を提案したり、

溝上 我々も来年の参議院選挙では力を尽くします。立憲民主党政権を執望します。

野田 民主党政権では、2012年に（解散総選挙を）選択し、私がタクシー事業法を

を飛ばしちゃったんです。を言っても数の力で押し切られちゃう状態でしたが、その心配は多少なくなりました。

野田 国会の運営が変わっていること自体が政治改革です。政治と金の話はかり注目されましたが、今までは与党が承認した法律や予算だけが、淡々と可決され、何かがあった時も、委員長職権で採決されちゃう。その繰り返しだったので、議員立法とていなかっただけを議論の俎上に載せることができます。

溝上 今日は事業法について議論していた2012年当時のタクシー政策議論の資料をお持ちしました。

野田 あーこれは懐かしい

方々の。細川律夫さん！（当時の議連会長）、奥田建さん！（野田政権下の国交副大臣）。よく、10年以上前の資料をお持ちですね。

溝上 探して持ってきました（笑）。事業法がダメになっただ後に、タクシー適正化・活性化特別措置法が改正されたのですが、結果的に実行力や強制力がなかった。日本のタクシーを守るためには強制力のある法制度が必要です。

野田 議連会長の辻元さんは国交副大臣もされていて実務に明るく、事務局長の森屋さんは理解度が違いますね。来年、森屋さんは改選期です。

溝上 絶対に落選させるわけにはいきません。



物価を超える賃金! 絶対に上げる! 立憲民主で野田政権を再び!

千葉14区(旧4区)選出の衆議院議員(当選10期)。千葉県船橋市出身で67歳。父は陸上自衛官。早稲田大学政治経済学部を卒業後、松下政経塾に第一期生として入塾。千葉県議(2期)を経て、93年衆院選で初当選。民主党政権では財務大臣を務め、2011年8月には民主党代表そして第95代内閣総理大臣に就任。社会保障と税の一体改革の一環として消費税増税などに取り組んだが、12年12月の衆院選で民主党が敗北し総辞職。その後、22年に国会で行った安倍晋三氏への追悼演説は「憲政史に残る名演説」とも評された。24年9月に第3代立憲民主党代表に就任。同年10月の衆院選では50議席増の勝利を得て、政権交代へ大きく前進。プロレスファンで、好物はラーメン、牛丼、日本酒。

野田代表の プロフィール

溝上 プラットフォーマーはライドシェア新法の成立にやつきになっていますが、我々からすれば間違いなく非法的な「白タク」です。反面、移動困難者の問題には政府としての解決策、交通政策をしっかり作って、予算もつけています。ただ、安全、安心、信頼は本当に大丈夫なのか、地域(ライドシェア)が

冷静さ欠くライドシェア論

高品質のタクシーを壊すな

公共を担うべき担い手であるかどうか」という視点から、タクシードライバーの賃上げを主張する。野田氏は、ライドシェアの急激な増加が、タクシーの需要を奪い、タクシードライバーの生活に悪影響を及ぼしているとしている。また、タクシーは公共交通機関の一部であり、社会に貢献しているという立場から、タクシーの品質を維持し、ドライバーの生活を改善する必要があるとしている。



賃上げに公的支援

溝上 賃上げの実現に向けた思いや政策を伺いたい。野田氏は、賃上げを中堅中小企業まで波及させるためには、価格転嫁が重要であるとしている。また、賃上げと同時に、労働環境を整備することや、省力化の投資を国が支援する必要があるとしている。

野田 賃上げを中堅中小企業まで波及させるためには、価格転嫁が重要である。賃上げと同時に、労働環境を整備することや、省力化の投資を国が支援する必要がある。賃金は上がっていますが、賃上げを許さないという姿勢が、賃上げを阻んでいる。賃金は絶対には上げないという姿勢は、物価を超えるという目標を達成できない。賃上げを許さないという姿勢は、賃上げを阻んでいる。賃金は絶対には上げないという姿勢は、物価を超えるという目標を達成できない。

最賃違反を許さない

野田 物価以上に賃金を上げなくてはなりません。賃上げを許さないという姿勢は、賃上げを阻んでいる。賃金は絶対には上げないという姿勢は、物価を超えるという目標を達成できない。賃上げを許さないという姿勢は、賃上げを阻んでいる。賃金は絶対には上げないという姿勢は、物価を超えるという目標を達成できない。

上を掲げ、一生懸命、乗務員の質を高めてきました。ここを無視して白タクを入れれば、間違いなく日本のタクシードライバーの生活は壊れます。今、タクシードライバーには女性も増え、(大学新卒者など)これまではちよつと違う経路から入って入ってきています。心して仕事に就ける社会にしたいです。

野田 今、教習所の状況はどうなんですか。
溝上 全自交には5校の教習所の労働組合が加盟しています。コロナの時は、逆にならなくて、10年で一番多い減り、逆に10年で一番少ない生徒数に減っています。またダンピング問題もあり、なかなか給料を上げられない課題があります。

自動車教習所の待遇改善を

溝上 地方ほど深刻な状況です。教習所も人手不足で、タクシードライバーの増加にストップをかける要因になってしまっています。
野田 それはストップがかかっていますか。
溝上 ハイヤー・タクシー・自動車教習所で働く我々は、「エッセンシャルワーカー」と呼ばれることもあり、本業に「国のインフラ」だと思っ

大阪全域

日本版RSを24時間運行

500人募集



大阪府が24時間運行を外部へ公表する1時間前に、newmoから発表されたキャンペーン。「初乗車で10万円ボーナス」などでRSドライバー500人を募集し大規模な展開をまくらむ。

大阪府と市は12月19日、万博開催期間の来年4〜10月まで府内全域で日本版ライドシェアを24時間運行することで国土交通省と合意した」と発表しました。「12月以降でできるだけ早期に試行を始めて台数を決める」としています。が、メルカリからの出資で設立された大阪のタクシー会社「newmo」は、同日に日本版RSドライバー500人を募集する大々的なキャンペーンを発表。大阪府市と裏でつながり大規模展開を目指していることは明白です。我々はこの乱用を認めない国交省に対して強く抗議し、撤回を求めます。

東北交運行政懇談会

日本版RSいつやめる? 事業者の廃止届は受理

東北交運労協は12月13日、仙台市内で行政懇談会を開き、東北運輸局の

川崎博局長らと意見交換しました。写真。全自交東北地連の高橋学委員長は、ライドシェア全面解禁に反対し、東北では日本版ライドシェアも殆ど稼働していないデータを説明。「終了基準を作って、認可期限の2年を待たず終了させるべき」と迫りました。東北運輸局は「認可した側が期限内に『やめて下さ



い」とは言えない」としつつ、「事業者が負担になつているとすれば廃止届を出すことは可能で、その場合は認める」と回答しています。高橋委員長はタクシへの公的支援を求め、国がコンサル会社に委託したせいで手続きが煩雑になっている「DX・GX補助金」の申請簡素化なども求めました。

タクシー政策議連総会



総会には、72名の議員と、62名の議員秘書が参加しました

新規加入の41議員

立憲民主党、国民民主党、社民党、無所属の議員でつくる超党派の「タクシー政策議員連盟」は12月4日に総会を開き、新たに40名の議員の新規加入を承認しました(後日さらに1名が加入)。これにより、議連の陣容は衆院110し「結論は明確。悪いライド事(全自交労連委員長)は

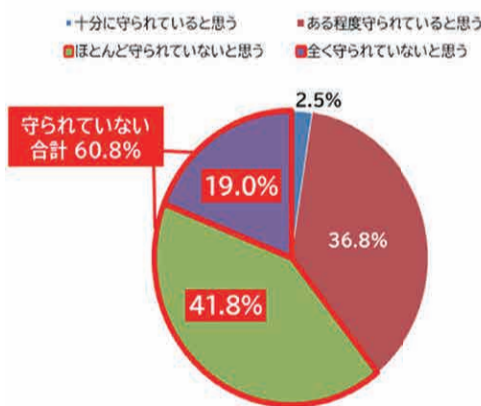
結論「悪いライドシェアは駄目」

立憲民主党、国民民主党、社民党、無所属の議員でつくる超党派の「タクシー政策議員連盟」は12月4日に総会を開き、新たに40名の議員の新規加入を承認しました(後日さらに1名が加入)。これにより、議連の陣容は衆院110し「結論は明確。悪いライド事(全自交労連委員長)は

交運労協千人調査

交運労協が実施した「タクシーとライドシェアに関する1000名意識調査」(前号1面既報)について、今後詳しく紙面で紹介していきます。ライドシェア新法についてはタクシー利用者の6割以上が不安を感じており、ドライバーの管理が無いことが不安の大きな理由となりました。

Q.日本で「法整備を検討中のライドシェア」が実現した場合、あなたは利用者として守られていると思いますか? (n=1053)



今、日本で公共交通として提供されているタクシーサービスについて、あなたの満足度をお聞かせください (回答者数=1053人)

回答	%	満足度
非常に満足している	10.3%	満足度 87.8%
大体満足・おおむね満足している	44.8%	
どちらかといえば満足している	32.7%	不満足 12.2%
あまり満足していない	10.3%	
全く満足していない	2.0%	

順位	項目	%
1位	ドライバーの身元を保证する仕組みがない	79.6%
2位	トラブル時の対応は原則ドライバーと乗客自身で解決を図ることになる	78.1%
3位	ドライバーの労働時間の管理やアルコール検査などは自己管理になる	77.9%
4位	ドライバーは、忘れ物の保管・対応の義務を負わず、ドライバーの任意の対応となる	75.1%
5位	ドライバーの健康状態はドライバー自身の自己管理である	74.2%

法整備検討中のライドシェア(海外のようなプラットフォーム型ライドシェア)の特徴に関し「非常に不安」、「ある程度不安」と答えた人の割合

立憲民主党所属 衆議院

名前	選挙区
青山 大人	茨城6区
阿久津幸彦	東京11区
東 克哉	広島3区
五十嵐えり	東京30区
池田 真紀	北海道5区
市来 伴子	埼玉8区
今井 雅人	岐阜4区
大塚小百合	神奈川20区
岡田 悟	兵庫7区
尾辻かな子	大阪10区
鎌田さゆり	宮城2区
川原田英世	北海道12区
黒岩 宇洋	新潟3区
小山 千帆	愛知15区
酒井なつみ	東京15区
佐々木ナオミ	神奈川17区
篠田奈保子	北海道7区
柴田 勝之	東京16区
杉村 慎治	埼玉9区
竹内 千春	埼玉3区
武正 公一	埼玉1区
辻 英之	福井2区
西川 厚志	愛知5区
波多野 翼	福井1区
平岡 秀夫	山口2区
福田 淳太	長野5区
松下 玲子	東京18区
松田 功	愛知16区
水沼 秀幸	千葉4区
宮川 伸	千葉13区
矢崎堅太郎	千葉5区
山 登志浩	富山1区
山花 郁夫	東京22区

参議院

奥村 政佳	全国比例
木戸口英司	岩手
柴 慎一	全国比例

国民民主党所属 衆議院

名前	選挙区
仙田 晃宏	岐阜3区
平岩 征樹	大阪8区
福田 玄	広島2区
森 洋介	東京13区

社会民主党所属 参議院

名前	選挙区
福島みずほ	全国比例